

シリーズ「ユメディカルの現場から」②

死亡率10%以上!? あなたの知らないCOPD

独立行政法人国立病院機構和歌山病院

臨床検査科 上場 将生

「COPD(慢性閉塞性肺疾患)とはどのような病気かご存知ですか?」

耳にしたことはあっても詳しくは...と思われる方もありません。しかし、近年増加傾向にあり、今後患者数が増え

ていくと考えられている重大な病気です。COPDは名前の如く、肺の病

気です。長期にわたって吸うことにより肺に炎症が起り、咳や痰が増え、息切れを起しま

す。しかし、咳や痰は風邪でもよくみられる症状なので、見過してしま

いがちです。加えて、病気の認知度が高くないことも診断の遅れにつな

がっていると考えられます。もし、治療をせずに放置しておく

と症状が悪化し、日常生活に支障をきたすようになります。

その咳、放っておくと大変なことになるかもしれません。

日本におけるCOPDの原因の約9割はたばこだといわれています。長期間たばこの煙を吸い続けると、刺激を受けた肺

に炎症が起ります。空気の通り道である肺の気管支に炎症が起きると痰

が増え、気管支の壁が厚くなり空気が通過しにく

くなるほどに悪くなることを「増悪」と呼びます。

増悪は比較的軽症な患者さんでも起ることがあり、注意が必要です。増悪を繰り返すと、そのたびに肺の機能は低下し、

体力も落ちていきます。そして、病気は重症化し日常生活にも支障をきたすようになります。さら

に、増悪は命にかかわることもあります。全身状態が悪くなり入院が必要となった場合、死亡率は

10%以上と言われています。

COPDの患者数は世界で約2億人、年間死亡者数は300万人と推定されています。日本でも

死亡者数は増加傾向にあり、2014年の死亡者数は1万6184人で、

死因全体の第10位、男性のみでは8位でした。COPDは長期の喫煙習慣

が主な要因と考えられており、日本では喫煙率は

低下の傾向にあります。が、過去の喫煙による影響より今後さらに患者数が増えることが予想されま

す。

COPDで壊れてしまった肺を元に戻すことはできませんが、適切な治療を行うことにより病気の進行を食い止め、症状を軽減させることができます。また、治療の開始が早ければ早いほど肺の機能低下を抑えることが

できます。長引く咳や痰および息切れの症状がありましたら、風邪や歳のせいと甘く見ない

で早めに呼吸器科を受診してください。